

九州観光ビジネスプランコンテスト 2023

事業計画書

提出日 2023 年 10 月 31 日

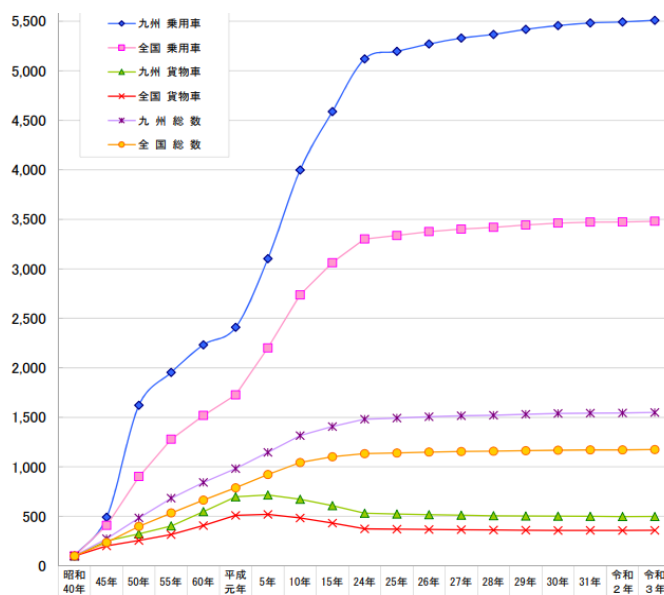
学 校 名	九州産業大学		
学部・学科名	商学部・経営流通学科		
チー ム 名 (個人参加の場合は任意)	S601	エントリーNo.	34

チームの紹介(任意項目)

私たちはS601です。チーム名の由来は、いつもゼミ活動を行っている部屋がS601なので親しみを込めてこの名前にしました。私たちのチームメンバーの出身は全員九州出身なので九州っ子です！！！！よろしくお願いします。

1. 取り組みテーマについて(なぜこのテーマに取り組んだのか)・現状および課題認識

テーマは自転車を使った観光地の渋滞の緩和と年々増加している空き地を駐車場として活用し提供することだ。



九州は現在、公共交通機関からの乗り換えが難しかったり、自宅や目的地から駅やバス停までが遠かったりという理由から多くの人は主な交通手段として車を選んでいる。国土交通省が発表している保有車両数の推移データ(図1)を見ると、九州の乗用車の保有者数は全国総数の約1.6倍。また、全国の保有者数を常に上回っている。このことから九州がどれだけ車社会なのかが分かる。九州は車社会であるために、公共交通機関では利用者の減少により公共交通機関の減便や廃止が所々で懸念されている。また、九州を訪れる観光客の多くは車で移動するひとが多い。九州では現在ほかの自転車シェアリングサービスが多数あり成功しているという実績がある。そのため私たちはその企業に新しい形態として空き地を利用した車と駐車場と自転車の駐輪場を一体化したものを提案する。近年少子高齢化の影響で増えてきた空き地の利用と車社会である九州で特に観光地付近で起きている慢性的な渋滞の緩和を解決することができる。

図1 国土交通省九州運輸局 九州管内自動車数統計 令和2年度版
(2023/10/10)

る。また、普段車で行動する観光客が自転車を使って観光地を巡ることによって車で回るよりも時間がかかるため長く滞在してもらえたり、観光地周辺の活性化につながったりすると考える。少しでも九州を訪れる観光客に九州の魅力を知ってもらいたいと考えたためこのテーマに取組んだ。

2. 課題解決に向けた新たなアイデアについて

九州は観光地が郊外にあるため、公共交通機関を使用した交通の便が悪いという課題を解決するために、近年少子高齢化の影響で増加している空き地を自転車のポート兼車の駐車場として使い自転車のシェアリングサービスを始め、観光地付近で起きている慢性的な渋滞の緩和、新しい交通の結節点の提供、空き地の有効活用をする。この

中でも私たちは熊本県阿蘇市を例として説明する。

空き地を自転車のポートと車の駐車場として使うことで観光地の少し離れたところから自転車に乗り換えてもらい、渋滞にはまることなく観光地に行ってもらえることができる。

似たようなサービスが九州では福岡市、熊本市チャリチャリ、北九州市 HELLO CYCLING、宮崎、佐賀鹿児島の一部 PiPPA が展開している。

これらのサービスと私たちが提案するサービスの違いは郊外で展開することと、空き地を活用した駐車場を併設することである。

3. 九州や地域社会への影響について

・新たなアイデアが九州や地域に及ぼす効果(誘客、活性化等)はどうか。

☆交通の結節点に自転車を配置することにより、公共交通手段を使用する人が増える。

☆新たな観光手段の1つとして自転車を導入することにより今までにない観光の方法が可能に。車で行くことのできない場所に行くことができたり、休憩時間がかねての滞在時間が増えたりすることで、新たな観光方法が可能になり、新規観光客だけでなく、リピーターの獲得ができる。

☆空き家問題の解決

☆観光地や観光地付近の活性化

4. 事業化に向けたビジネスモデルについての具体的な紹介を



私たちのビジネスは、既存のシェアサイクル企業と連携し、空き地を活用して駐車場と駐輪場が一体化したシェアサイクリングの提供を行うことである。このビジネスターゲットは観光客だ。観光客に対し、自動車を止める駐車場と観光地を周るための自転車の提供をする。貸出する自転車はシェアサイクルを既に展開している既存の企業と連携して自転車の貸し出しを行う。この自転車は駐車場に止めてくれた人に無償で貸し出しをする。自転車を無償で貸し出す代わりに駐車場代を周辺の駐車場より高めに設定し、この駐車場代により利益を生み出す。既存の企業には自転車の貸し出しやメンテナンスを中心に行ってもらい、私たちは空き地の手配や、駐車場・駐輪場の運営を行う。

図2 阿蘇市の観光マップ

【熊本・阿蘇】1Day ドライブ！ おすすめ絶景コース！・まっぷるトラベルガイド (mapple.net) (2023/10/24)

例として、熊本県の阿蘇市での事業計画について説明する。

阿蘇市には草千里ヶ浜や阿蘇神社、大観峰など自然が観光スポットとなっているところが多い。ほかにも、阿蘇カドリー・ドミニオンやモーモーファーム竹原牧場などの家族連れに人気のスポットもある。最近では、田子山展望上にある「そらふねの棧橋」が人気のスポットになりつつある。そんな阿蘇市に観光に行く人のほとんどは交通手段として車を使うことが多いと考えられる。阿蘇市の主要観光スポットにある駐車場の値段を調べてみると、草千里ヶ浜は1台500円。阿蘇神社は最初の3時間300円、以降1時間ごとに100円。阿蘇山上駐車場は1台500円。大観峰、阿蘇カドリー・ドミニオン、モーモーファーム竹原牧場、田子山展望上は無料駐車場がある。阿蘇市の中でも特に草千里ヶ浜は観光客に人気のスポットになっているため周辺の道は渋滞になることが多くある。そのため少し離れたところに駐車場と駐輪場が一体化したシェアサイクルを利用することのできる駐車場を設置する。また、草千里ヶ浜は山の中にあるため、電動自転車のみをポートに置き無理なく目的地まで行けるようにする。普段はドライブスポットとして有名な道を自転車で走ることにより自然を感じることができ阿蘇市の新しい魅力を発見してもらおうと考えている。従来のシェアサイクルは都市部での展開が多く、地方に進出することが難しいという課題がある。しかし、自動車と自転車を併用するプランを考えることにより地方への進出が可能となる。

KP キーパートナー 市や町、JR、 観光地、 タクシー	KA 主要活動 カスタマーサポート、 自転車の貸し出し、 駐車場経営	VP 価値提案 新しい体験 (車ではいけない場所 に行ける)、 健康	CR 顧客との関係 アプリ	CS 顧客セグメント 観光客 地元民 若年層
	KR 主なリソース 駐輪場、自転車、 駐車場		CH チャネル SNS、広告、キャン ペーン	
CS コスト構造 駐車場代、広告費、人件費、メンテナンス			RS 収益の流れ 駐車場代、自転車の利用料、広告費、 マップの掲載料金	

例) 熊本県阿蘇市(車 5 台 自転車 21 台) 阿蘇市の 1 坪の価格は 3,2 万円

車 1 台をとめるのに必要な土地は 4.5 坪 自転車は 3 台で 1 坪必要

CS(コスト構造)…駐車場代:94,4 万円

RS(収益の流れ)…駐車場代(1 台 500 円):1 ヶ月で約 500 台駐車されるとしたら 1 ヶ月 25 万円

自転車の利用料(1 日 500 円):1 ヶ月で約 1000 台借りられるとしたら 1 ヶ月 50 万円

5. 事業化後の目標、継続可能性や将来のイメージなどについて

観光をする際の交通手段や観光地までの移動手段として自転車を選んでもらえるようにする。

自転車を使用することによって慢性的な渋滞を緩和することができれば、観光客の満足度向上にもつながるほか、渋滞による地元民の不満を少し解消することができるのではないかと考える。また、観光地によっては公共交通機関が不足しているところもあるため、観光客だけではなく観光地周辺に居住している地元の人の利用も促すことができれば安定的な利用を見込める。